

登壇者一覧（敬称略）

石川雅恵 UN Women（国連女性機関）日本事務所所長

国連本部及び地域・国事務所において約20年間、資金調達とパートナーシップ構築業務に従事。1998年より日本政府国連代表部専門調査員として、ニューヨークにて女性の人権にかかわる事案を担当。その後UNICEF本部でアシスタントプログラムオフィサーとして子供の性的搾取撲滅に取り組む。2003年よりUNFPA（国連人口基金）に資金調達官として、日本、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド及び韓国との関係調整を担当。その間、組織内短期赴任制度によってUNFPAシエラレオネ国事務所にて代表補佐、アジア・太平洋地域事務所にて資金調達とパートナーシップに関する顧問を務め、また1年間国連事務局人間の安全保障ユニットに資金調達官として出向。2017年10月より現職。兵庫県立神戸高校、関西学院大学社会学部を卒業後、オレゴン大学国際学部学士、神戸大学大学院国際協力研究科法学修士取得。



佐藤勇輔 内閣府男女共同参画局総務課企画官

男女共同参画局総務課総括課長補佐、子ども・子育て本部企画官、少子化対策担当大臣秘書官を経て、現職。米国インディアナ大学大学院修了（行政学修士）。2009年育児休業（3か月）。保育士。



シャマティヤ・フェルナンド（Chamathya Fernando） Generation Equality Youth Task Force スリランカ代表

ガールガイド・ガールスカウト世界連盟の最年少運営委員を務める（2018～2020年）ジェンダーに基づく暴力に対する「Stop the Violence」国際コーディネーターとしてスリランカとバングラデシュのガールガイドでプロジェクトを先導。ロータリー、国連財団、プラン・インターナショナル、UNICEFスリランカ、南アジア国連家族計画連盟など広範な活動に関わる。2017年、米国国務省に「新進気鋭の若いリーダー10人」として表彰された。



ラチャ・ハフアー（Racha Haffer） Generation Equality Youth Task Force チュニジア代表

チュニジア出身のフェミニスト、ジェンダー正義・近代的奴隷制撤廃活動家。アラブ世界の「インスパイアリングな女性起業家」トップ5に数えられる。チュニジア初の反人身売買NGO「Not 4 trade」、人身売買と闘うユース運動「Youth Against Slavery Movement」、「Generation Equality Anti Slavery Collective」創始者。フルブライト奨学金受給者、チュニス・パレルモ大学で国際関係と国際開発・協力の修士号を取得。国際連合協会・ケンタッキー大学、トムソン・ロイターズ財団から表彰。



ザラ・アル・ヒラリー（Zahra Al Hilaly） Generation Equality Youth Task Force オーストラリア代表

インターセクショナルなフェミニストとしてジェンダー、平和、移住・難民問題に取り組む。オーストラリアYWCA若い女性委員、オーストラリア多文化ユース・ネットワーク（MYAN）多文化大使、西オーストラリアユース大使。法学とジャーナリズムを専攻し、将来は広報分野で、自分の祖先たちのストーリーを伝えたいと希望している。



山口慧子 Generation Equality Youth Task Force 日本代表

日本YWCA幹事。CSW（国連女性の地位委員会）への若い女性の派遣や、日韓の若者が両国に共通する課題を協議する「日韓ユース・カンファレンス」（2019年度のテーマは「ミソジニーと#MeToo運動」）などを担当。



清水祐子 横浜 YWCA 前代表理事

1991年に「HIVと人権・情報センター（すでに解散）」で電話相談ボランティアを始めたことがきっかけになり、フィリピンで性的搾取や人身取引の問題に取り組む NGO「Third World Movement Against the Exploitation of Women」でインターンシップを経験。北京女性会議にはこの NGO から派遣された。



堀河昌子 大阪 YWCA 運営委員・千里委員会委員長・女性エンパワメント推進チーム副委員長／認定 NPO 法人大阪被害者支援アドボカシーセンター顧問／公益社団法人全国被害者支援ネットワーク顧問

1995年、阪神淡路大震災を機に立ち上げられた大阪 YWCA の「こころのケア・プロジェクト」に参加。同年、日本 YWCA 主催のツアーで北京女性会議に参加。その後、性被害、DV等、女性への暴力犯罪被害者への支援を含む「大阪被害者相談室」（2002年より認定 NPO 法人大阪被害者支援アドボカシーセンター）の立ち上げに携わり、代表を20年務めた。DV被害者のための中長期自立支援施設大阪「YWCA ステップハウス」では、開設当初より支援員として直接支援、電話相談などを担当。



増井さとみ ウィメンズカウンセリング名古屋 YWCA 所属フェミニストカウンセラー

1960年生まれ。日本フェミニストカウンセリング学会（当時は日本フェミニストカウンセリング研究連絡会）主催の北京女性会議ツアーに参加。そこで女性同士の連帯＝シスターフッドを肌で感じ衝撃を受けた。帰国後、名古屋 YWCA を訪問、そこでもウエルカム姿勢で受け入れてくれた方々に感動。これらの体験は現在フェミニストカウンセラーとして、また YWCA の会員として活動している原動力となっている。



栗田明日香 大阪 YWCA 副会長／女性エンパワメント推進チーム委員長

2012年～大阪 YWCA 国際部（のちにこども部に編成）ボランティアリーダー、2019年～大阪 YWCA 女性エンパワメント推進チーム（元ステップハウス委員会の後継組織）委員長、2020年度大阪 YWCA 副会長。2013年～2017年、2019年～2020年女性のための福祉施設に勤務。



東上菜々子 京都 YWCA 会員／日本 YWCA 北京+25 チーム委員／京都 YWCA ユースエンパワメントチームメンバー

京都 YWCA では、中高生を対象に社会問題を自分の言葉で表現できるようになることを目指してワークショップを実施中。また、日本 YWCA の「北京+25 チーム」メンバーとして国内外の政策提言の場でジェンダーのアドボカシー活動も行っている。地域および国双方のレベルでユースエンパワメントを担っている。



矢田部沙羅 東京 YWCA 会員／中高生を対象とした包括的性教育プロジェクト「Rise Up! School Visits」のメンバー

第63回国連女性の地位委員会（CSW63）への日本 YWCA 派遣メンバー。世界 YWCA 発行の「若い女性の変革をもたらすリーダーシップのためのグローバル Rise Up ガイド（以下、Rise Up! ガイド）」を用い、中高生向けに、人権教育に基づいた包括的性教育プログラム「Rise Up! School Visits」を考案。国際セクシュアリティ教育ガイダンスに則った包括的性教育の普及を目指して活動中。

